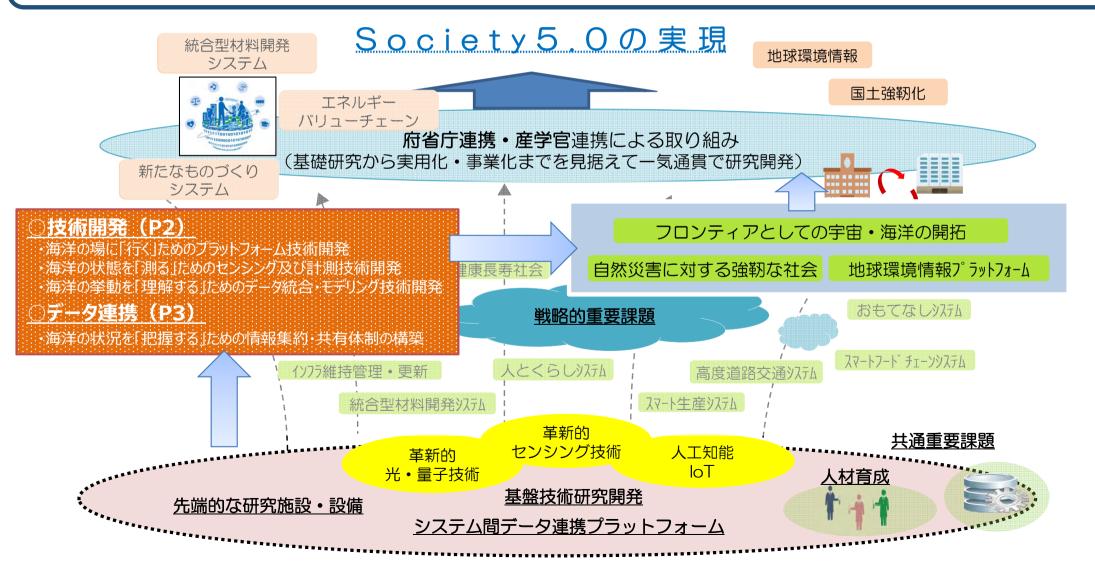
Society5.0の実現に向けた 海洋分野における重点的取組について

平成29年11月16日 内閣府総合海洋政策推進事務局

海洋分野におけるSociety5.0の実現に向けた取組の方向性

- ○政府は、海洋基本法及び海洋基本計画に基づき、**海洋安全保障、海上交通安全、海洋環境の保全及び海洋産業振興**等、総合的に海洋政策を推進。
- ○これらの政策を効果的・効率的に推進するためには、Society5.0を海洋分野においても実現することが重要。
- ○このため、総合科学技術・イノベーション会議等と連携し、AI・IoT・ビッグデータを活用した<u>革新的な観測システム</u>の開発や<u>海洋データの統合・モデリング</u>技術の開発、海洋状況把握(MDA)体制の確立などの取組を推進。



Society5.0の実現に向けた"技術開発"の例

革新的自動観測・監視技術の開発(文科省・国交省・内閣府)

• 我が国周辺海域の海洋安全保障(海洋監視能力の強化)、我が国シーレーンでの海上安全確保、津波に代表される我が国沿岸部の自然災害対策、持続可能な水産資源確保のための海洋環境保全等に貢献するため、産学官・関係府省連携の下、海洋工学(実空間)と情報科学(サイバー空間)の融合を図り、革新的海洋自動観測・監視技術を開発する。

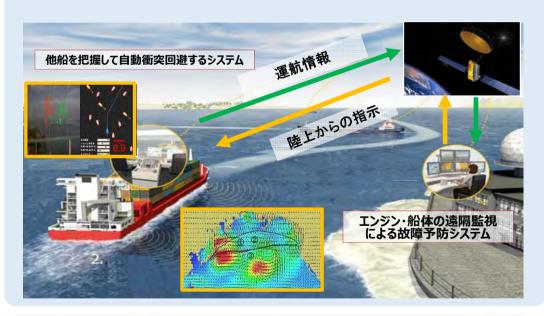
新たな海洋観測プラットフォームの確立

「単細胞から多細胞」への進化を支える共通基盤技術の開発を推進し、無人探査機(AUV)等を高度に活用した、新たな海洋観測システムの実現を目指す。



船舶等の最適自動運航を可能とする技術の開発

自動衝突回避、エンジン遠隔監視による故障予防、最適(安全・省エネ)航路選定に係るシステムをトータルに実現した、進歩・普及の著しいICT等最新技術を導入した「先進船舶」の実現を目指す。



海洋データの統合・モデリング技術の開発

各種リアルタイム観測データを組み合わせ、大規模シミュレーションやAIにより新たな価値を創造し、即時提供する技術を開発する。



Society5.0の実現に向けた"データ連携"の例

海洋情報の集約・共有・提供の基盤整備(内閣府・国交省・海洋関係省庁)

未来投資戦略2017 - Society 5.0の実現に向けた改革

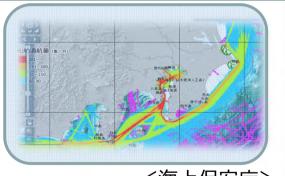
(Ⅱ. Society 5.0 に向けた横割課題 (A)-1.)

・未来投資戦略2017にあるように、広域性・リアルタイム性及び利便性の高い海洋情報について、海運・漁業・再生可能エネルギー 開発など多くの産業分野や、海上安全、自然災害対処、海洋環境保全等での利用促進が図られるよう、<u>我が国の海洋状況把握</u> (MDA) 体制の確立のため、海洋情報の集約・共有・提供の基盤の一つとなる「海洋状況表示システム」の整備等を推進する。

海洋状況把握(MDA: Maritime Domain Awareness)

関係政府機関の連携を強化することで、海洋に関連する多様な情報について効果的な集約・共有を図り、<u>海洋に関連する</u> 状況を効率的に把握する取組

「海洋状況表示システム」



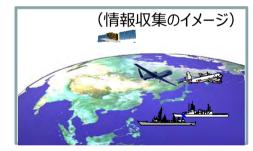
<海上保安庁>

·海洋安全保障

- ·海上安全
- ·自然災害対処
- ·産業振興
- ·海洋環境保全

利活用が見込まれる分野

海洋安全保障に係る府省



海洋安全保障に係る情報

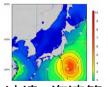
海上保安庁



海底地形

船舶通航量

気象庁



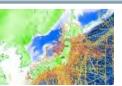
波浪、海流等

関係府省



被災状況画像(衛星画像等)

海洋調査研究機関



海洋調査データ



海水温•水質

宇宙開発機関

